

アプリケーションツール

デバイスへの保存

「デバイスに保存」ボタンをクリックすると、すべての登録済みデバイスの現在の稼働設定が、永続的な起動設定として保存されます。これは、Green-GO制御ソフトウェアがなくてもデバイスが完全に機能するようにするために必要です。

 オレンジ色のバッジは、現在動作中の設定とスタートアップ設定の間に差異があることを示します。これは、その変更をデバイスに保存する必要があることを意味します。

「Save to Devices」コマンドを実行すると、通信が最大1秒間中断されます。本番(ショー)の最中には、決してこの機能を使用しないでください。

セットアップアシスタントを開始する

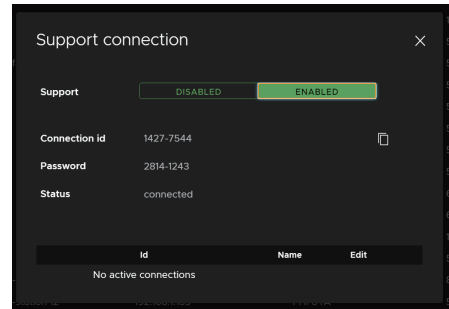
セットアップアシスタントは、新しいコンフィギュレーション項目の作成をサポートします。グループ作成のような基本的なタスクから、IFBの設定といったより複雑なタスクまでを簡略化することができます。これらのアシスタントは、新しい項目をセットアップするために必要なすべての手順をステップバイステップで説明します。

-  **Create User(s) assistant** - デバイスプロフィールを含む、単一または複数のユーザーを作成します。
-  **Create Group(s) assistant** - 単一または複数の「空の」グループを作成します。
-  **Create Room(s) assistant** - 単一または複数のルームを作成します。オプションでユーザーへのルーム割り当てが可能です。
-  **Create Template assistant** - 空のテンプレートを作成します。
-  **Create Script assistant** - スクリプトを作成します。オプションで既存のスクリプトをアップロードすることも可能です。
-  **Create IFB assistant** - IFBに必要なすべてのコンポーネントを作成します。
-  **Create Party-line assistant** - メンバーを含むパーティーライングループを作成します。
-  **Create One to Many assistant** - 1人のユーザーが他の複数のユーザーに対して通話できる「ワン・トゥ・メニー」グループを作成します。このグループでは、複数のユーザー側 (Many) からの返答は「その1人 (One)」に対してのみ行われ、他のユーザーに聞かれることはありません。

サポートを受ける

サポート機能は、インターネット経由で安全なSSLリモートアクセスを可能にし、既知のユーザーがアプリケーションにアクセスできるようにします。このユーザーは、接続されているデバイスの設定とステータス全体を確認できます。また、設定のすべてのプロパティを変更する権限も付与できます。接続はアドホック接続であり、IDとパスワードの組み合わせは1回のセッションのみ有効です。無人アクセス接続には適していません。

リモートサポートセッションを設定するには、「有効にする」ボタンをクリックします。プライバシー保護のため、クラウドで生成されたIDとパスワードが提供されます。このIDとパスワードは、サポートを提供する担当者に伝えることができます。接続が確立されると、ステータスが「接続済み」になり、アイコンが  に変わります。リモートユーザーはアプリケーションを表示できるようになります。リモートユーザーによる編集を許可するには、「編集」チェックボックスをオンにしてください。ボタンを「無効にする」に戻すと、接続は即座に切断されます。



IDとパスワードをコピーしてください

IDとパスワードを簡単に共有するには、 ボタンをクリックしてクリップボードにコピーし、好みのチャットアプリやメールアプリに直接貼り付けてください。

リモートサポートでは画面ミラーリングは行われません。サポート担当者は、設定内容の確認と変更のみが可能です。サポート接続によってローカルアプリケーションの表示も変更されません。マウスカーソルの移動や画面表示が必要なトレーニング目的の場合は、[Team Viewer](#)などのサードパーティ製アプリケーションをご利用ください。

サポートを提供するには、アプリケーションを **サポートモード** で起動する必要があります。

サポートの提供

サポートを提供するには、起動時のスプラッシュ画面で  ボタンを押し、アプリケーションをサポートモードで開始する必要があります。接続IDとパスワードを入力する画面が表示されます。

正しく入力されると、リモートサイトへ接続され、アプリケーション内の操作や各種プロパティの閲覧が可能になります。また、リモート側で編集権限が有効になっている場合は、リモート側のアプリケーションやデバイスを操作・設定変更することも可能です。

- 設定変更、各種ステータス、および状態情報は、サポートを受ける側と提供する側の間でリアルタイムに共有されます。
- ただし、レベルメーター情報は共有されません。サポートを提供する側では、受信側でのアクティブなレベル表示を確認することはできません。

📁 ファイルメニュー

ファイルツールを使用すると、現在の設定をディスクに保存したり、新しい設定を開始したり、以前の設定ファイルを読み込むことができます。

CREATE NEW

新しい空のコンフィグファイルを読み込みます。ファイル名とサンプルレートは指定する必要があります。

QUICK START

新しい設定を読み込み、デフォルト設定でクイックスタートウィザードを開始します。

OPEN

以前保存した *.gg5 設定ファイルへのアクセスと読み込みを可能にします。

SAVE

現在の設定とすべての設定を *.gg5 ファイルに保存します。

SAVE AS

ファイル名と保存場所を指定すると、現在の設定とすべての設定が *.gg5 ファイルに保存されます。

MERGE

以前に保存した (部分的な) *.gg5 ファイルは、現在のファイルと統合できます。ユーザーやテンプレートなどの以前に作成したセクションは、この方法で現在の構成に簡単にインポートできます。



設定ファイルの統合 (マージ) について

設定ファイルを統合 (マージ) する際、現在開いている設定の一部が上書きされる場合があります。例えば、統合する両方のファイルに「ID 1」のユーザーが存在する場合、現在開いているファイル側のユーザー情報は、読み込んだファイル側の情報によって上書きされます。マージ操作は元に戻すことができません。そのため、マージを実行する前に、必ず現在の設定ファイルのバックアップを作成してください。

V4レガシーファイルのインポート

Green-GO 5では、旧形式の設定ファイル *.ggc をインポートすることが可能です。インポートは、単純にその *.ggc ファイルを開くだけで行えます。インポート時には、以下の項目が作成・割り当てられます。

- 各V4 GreenGOグループに対してグループ (IDと名前) を作成します。
- 各V4 GreenGOユーザーに対してユーザー (IDと名前) を作成します。

- 各ユーザーに特別なチャンネルプロパティを設定します (アナウンス、緊急、プログラムオーディオの割り当て、プログラムレベルとディム)。
- 各ユーザーにチャンネルを割り当てます (割り当てID、トークモード、コールモード、優先度、リスニング)。

その他のプロパティと設定は、明確な変換方法がないためインポートされません。元のファイルは変更されず、新しい *.gg5 設定ファイルとして保存する必要があります。変更内容をV4に戻すオプションはありません。

設定

アプリケーションのグローバル設定と環境設定はここで変更できます。

APPEARANCE

アプリケーションの外観を調整できる外観ビューを開きます。

- **Application size**

さまざまな画面解像度やシステムに合わせて、アプリケーションのコンテンツを拡大・縮小し、表示領域を広くしたり、見やすさを向上させます。オプション：小、標準、大

- **Tooltips** ツールチップを無効にするオプションです。 オプション：無効または有効

LOCK/UNLOCK

設定の編集や変更を一時的にロックします。管理者パスワードが設定されている場合、編集を再開するにはこのパスワードが必要です。

ABOUT

現在実行中のソフトウェアのバージョンおよびビルド情報を表示します。

ヘルプ

「ヘルプ」ボタンをクリックすると、マニュアルが表示された新しいウィンドウが開き、閲覧や検索を行うことができます。このマニュアルの最新版は、manual.greengoconnect.com でご覧いただけます。

 2026年4月7日

 2021年2月1日

 Henk-Jan Blok, Timo Toups



株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682